

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

二十年民第三拾八号

---

(発行年 / Year)

1910

廿年民部三拾八号

裁判言渡書

安田周助代言人

齋藤信吾

左谷傳言代人

吃太 正妻

右左谷傳三郎より安田周助ニ係ル敷全取  
度シ事件ニ付弘前地審裁判所カ言渡シ  
タル裁判ニ服セヌレテ安田周助ヨリ控訴ヲ為  
スルニ依リ又フ審理ニ双方ノ陳述ヲ離ク其要  
領左ノ如シ

控訴人陳述、趣旨ハ明治十九年三月廿三

函館控訴院

日芥吉号註ヲ以テ三浦堂三郎ヨリ地所並ニ  
建家共買取リ三堂ニ料ヲシテ被控訴人ハ  
是ノ先該家ノ一部ヲ三浦堂三郎ヨリ借  
受テ其家親ニ僅百圓ヲ借取リ三堂ニ貸与  
ヘ夫ヨリ生スル利息ヲ交付スルノ約定ナリ  
レテ以テ其賃借ノ契約ヲ解キタル後該家屋  
現時ノ所有者ヨリ元資金ノ取戻シヲ為スル  
ハ当然ナリト云フト案ハ控訴人カ該家ヲ買入  
レシ時被控訴人ハ該家ニ住家セザルニシテ又  
控訴人ハ毫モ他ヨリ右様ノ契約アリシトテ  
弟知セザルニ由リ償還ノ義務ナシト云フニ在  
リ

被控訴人陳述ノ趣旨ハ明治十六年六月  
 三浦豊三郎住家ノ一部ヲ借受テ負債三  
 金百圓ノ數令トシテ豊三郎ノ附托シ其金額ヨ  
 リ生ズル所ノ利ヲ文付セル契約ヲ結ビ乃チ貸  
 借トシ處爾後該家ハ控訴人ノ質取リ相成ケリ  
 ト云ヒ貸借ノ契約ヲ解キタル時ハ數金ハ家屋  
 附從ニシテトシテ以テ所有主ハ甲乙轉讓ニシテ家屋  
 ノ負ツ所ノ義務ハ相離レトシ由リ現時ノ所有  
 者控訴人ナリ債權ヲ受ケル權利アリト云フ  
 ヲ其居号其式号其号ヲ以テ直事實  
 ヲ証明セリ

函館控訴院

左ノ如シ

被控訴人ニ於テ三浦豊三郎ノ附托ニシテ金百圓  
 ハ家屋ノ負ツ所ノ義務ナリ以テ負債借契約ヲ  
 解キタル後ハ現時ノ所有者控訴人ヨリ返金  
 ヲ受ケルノ權利アリト云フト云ヒ被控訴人ハ該  
 金負ヲ接受スルニ當リ書入質ノ手續ヲ行フ  
 ルニモアラス加之控訴人ハ該家屋ヲ賃入ル時ニ  
 在テハ現ニ被控訴人ハ自家屋ニ占居スルニモア  
 ラザレハ控訴人ハ斯ル契約ヲ存在スル事ヲ認  
 知ス可キ様也ナク且又其在在ノ有無ヲ深ク調  
 査スラ質賃ヲ行フ可キ責任ヲ有セザルモノニ付被  
 控訴人ハ前所有者ノ負擔ニシテ義務ヲ控訴人

字訂正

ニ継續セシメト申立ハ直理ナキモノトス

右ノ理由ナリ依リ判決スル左ノ如シ

原告始審裁判所カ明治二十年九月廿四日言

渡シテ被告判ハ直當ヲ得サルニ付之ヲ取消ス依

テ被控訴人ノ請求ハ相立タカルモノトシ

訴請入費ハ始審終審共被控訴人之ヲ負擔ス

可シ

明治廿年二月三日

裁判長評定官武久昌子

陪席評定官別役元昌

全全長安道一

書託佐在乙太郎

函館控訴院